

信濃川左岸堤防 小千谷市茶郷川樋門 小千谷大橋南側

調査日：平成 16 年 11 月 8 日（月）

班：地盤土構造マネジメント班 【古関・石原】

分類別：被災状況

キーワード別：河川堤防、液状化

調査結果

土堤は応急復旧済みであった（写真 1）。堤外側ののり面下部はコンクリート製護岸となっており、そこに生じた亀裂も補修済みであった（写真 2）。長さ 50m にわたり、のり肩及び堤外地側の小段が最大で約 50cm 程度沈下した箇所である。護岸にも 30cm 程度の亀裂が生じていたとのことである。堤外地側の被災箇所の堤内地側は無被災箇所と比べて明らかに低湿地で地盤条件が悪い。樋門の堤内地側水路も一部破損しており、土堤に押された可能性がある（写真 3）。その周辺では、大規模な噴砂が確認できた（写真 4）。



写真 1 応急復旧済みの土堤



写真 2 補修済みのコンクリート護岸



写真 3 樋門の堤内地側水路の破損



写真 3 堤内地側で見られた大規模な噴砂